
VENKMAN
ゴーストバスターズ



ゴーストバスターズ

コロムビア映画提供
アイバン・ライトマンフィルム
ブラック・リーノ／バーニー・ブリルスタインプロダクション

DOLBY STEREO IN SELECTED THEATRES　オリジナルサントラ盤／アリスタ・レコード

Columbia Pictures



THEY'RE HERE
TO SAVE THE WORLD.

解説

84年，夏のアメリカ映画界を席捲し，スティーブン・スピルバーグの２大自信作(「インディ・ジョーンズ／魔宮の伝説」「グレムリン」)を押えて，全米猛ヒットNo.１を独走，そしてコロムビア映画史上最大のヒットとなった作品――それがこのＳＦＸスーパー・スペクタクル「ゴーストバスターズ」だ。

映画の舞台となっているのは巨大都市ニューヨーク。タイトルの〝ゴーストバスターズ〟とはオバケ撃退部隊のことで，この町のいたるところに出現した〝ゴースト〟を一掃するために敢然と立ち向かう彼らの大活躍ぶりが描かれていく。

市立図書館に現われた老女のゴースト，ホテルを荒す食い意地のはったアグリー・リトル・スパッド，ヒロインを襲う狂犬ゴースト，テラー・ドッグそして世界制覇を企らむ霊界の女王ゴーザなど，ここにはさまざまなゴーストたちが登場し，かつてのヒット作「エクソシスト」や「ポルターガイスト」を数千倍スケールアップした幻想的な世界が展開する。

3700万ドルの巨費が投じられた大作にふさわしいＳＦＸがともかくも凄まじい。ゴーストバスターズと霊界との対決は目もくらむばさりの楽しさ！面白さ！痛快さ！宇宙や架空の町ではなく，現代のニューヨークを舞台にしたところも新鮮だ。

☆　☆　☆　☆　☆

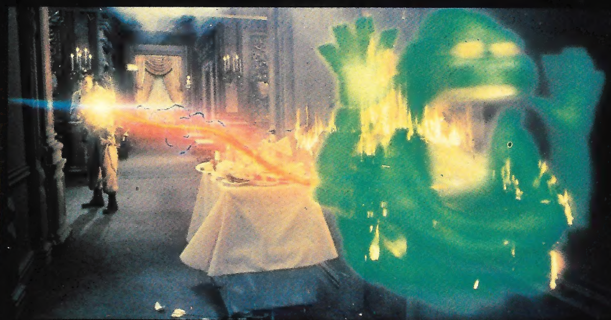
こうした視覚的な見どころに加えて，この映画をさらにドラマチックに盛り上げているのがキャラクターのおもしろさだ。現代最高のコメディアンのひとりと言われる「ブルース















・ブラザーズ」のダン・エイクロイド,「パラダイス・アーミー」のビル・マレー＆ハロルド・ライミスの最強トリオのとてつもなく愉快なユーモアのセンスが火花を散らしてスパーク！陽気なエイクロイド，とぼけたマーレー，クールなライミスと全く異る３人の個性が，お祭り映画としてのハッピームードを盛り上げ，またドラマに奥行きもあたえている。

紅一点のヒロインとして登場するのが「エイリアン」の勇気ある美女役で知られるシガニー・ウィーバーで，怪物にとり憑かれるマーレーの恋人役をセクシーに怪演する。共演陣も豪華版で「ストリート・オブ・ファイヤー」のリック・モラニス,「セカンド・チャンス」のアーニー・ハドソン,「ミスター・グッドバーを探して」のウィリアム・アザートン,「キング・オブ・ジプシー」のアニー・ポッツと実力者揃い。

☆　☆　☆　☆　☆　☆

またスタッフの方もキャストに負けない強力メンバーがずらり。監督は「アニマルハウス」(製作）や「パラダイス・アーミー」のアイバン・ライトマン，撮影は「イージー・ライダー」「ペーパー・ムーン」のラズロ・コバックス，美術は「ハロー・ドーリー」「クレオパトラ」のジョン・デ・キュア，ＳＦＸは「スター・ウォーズ」「ポルターガイスト」「レイダース」のリチャード・エドランド，音楽は「荒野の七人」のエルマー・バーンスタインで，レイ・パーカーJr.,エア・サプライ，ローラ・ブラニガン，トンプソン・ツインズといった人気アーティストの挿入歌が映画同様，全米では超大ウケ。主題歌も映画同様，全米ナンバーワン・ヒットを記録した。

脚本を書いたのはエイクロイドとライミスのふたりであるが，映画の中の博士役同様，霊界に並々ならぬ関心を抱いているエイクロイドは実際の体験や調査結果に基づいてこの映画のストーリーをねり上げたとか。ニューヨークに棲みついたゴースト界が世界を滅そうとする設定は，どこか世紀末的な臭いがする現代にぴったりで，なんともスリリング。「ゴーストバスターズ」は近代的なＳＦＸとコミカルなキャラクターとをファンタジックに結合させた〝アイディアの勝利〟とでもいうべき超話題作なのだ！

（コロンビア映画製作・配給　１時間45分　６巻　2883m
シネマスコープ　翻訳・戸田奈津子）



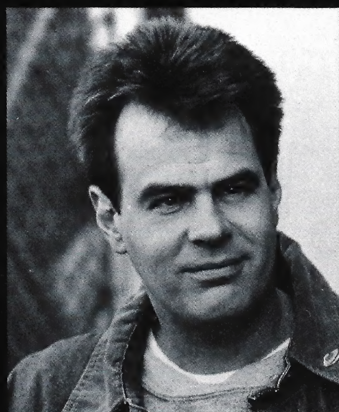


BILL MURRAY
ビル・マーレー



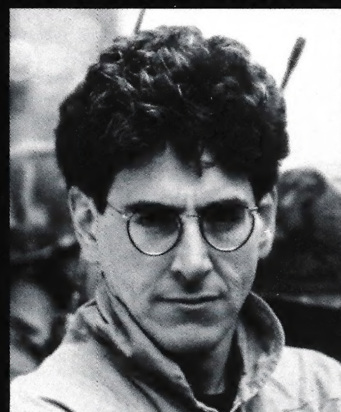
とぼけた科学者ピーター役を好演し,〝80年代を代表する最大のホープ〟と言われる個性派コメディアンだ。イリノイ州のエバンストンで50年9月21日に9人兄弟の1人として生まれ,ウィリムレットで育てられた。最初は医者を志してレジス大学に入ったが,勉強することが多過ぎていやけがさし,シカゴの即興グループ〝セカンド・シティ・ワークショップ〟に入る。ここで後に仲間となるダン・エイクロイドと出会う。やがてニューヨークへ向かったマーレーは『ナショナルランプーン・ラジオ・ショー』を経て,75年にオフ・ブロードウェイのレビュー『ナショナル・ランプーン・ショー』に参加。76年にこれが人気TVショー『サタデー・ナイト・ライブ』に発展,一躍脚光をあびた。映画デビューはライトマン監督の「ミートボール」で,81年に大ヒットとなった同監督の「パラダイス・アーミー」で人気を確立させた。新作は初のシリアス・ドラマ「剃刀の刃」。〔その他の主な作品〕(80)ボールズ・ボールズ　(82)トッツィー

DAN AYKROYD
ダン・エイクロイド



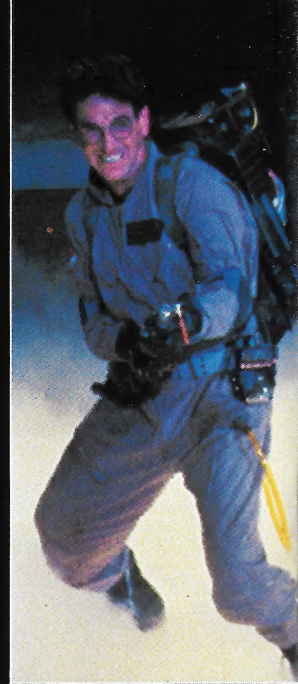
演技だけではなく,脚本や音楽もこなす才人で,この映画でもライミスと一緒に脚本を書き下ろした。オタワ生まれのケベック育ち。犯罪学の勉強がしたくてオタワのカールトン大学に進んだが,トロントの〝セカンド・シティ・ワークショップ〟でコメディアンとしての才能を磨き,シカゴの同グループへ移る。ここでライミスやマーレーと知り合った。その後,TVの『サタデー・ナイト・ライブ』に俳優兼脚本家として参加して人気者になる。77年にはエミー賞も受賞。この番組でチームを組んでいた故ジョン・ベルーシと〝ブルース・ブラザーズ・バンド〟を組み,R&B系のレコードを製作して好評を博した。映画デビューは75年のカナダ作品『ひとめぼれ』(未公開)。80年,ジョン・ランディス監督の「ブルース・ブラザーズ」が大ヒットとなって,その後は超売れっ子スターになった。〔その他の主な作品〕(80)1941　(82)ネイバーズ　(83)トワイライトゾーン,大逆転

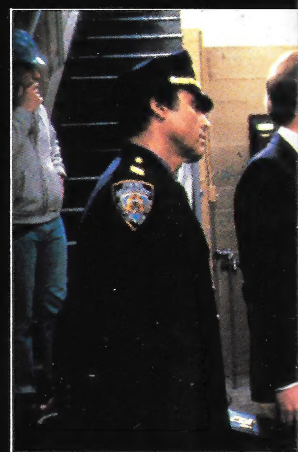
HAROLD RAMIS
ハロルド・ライミス

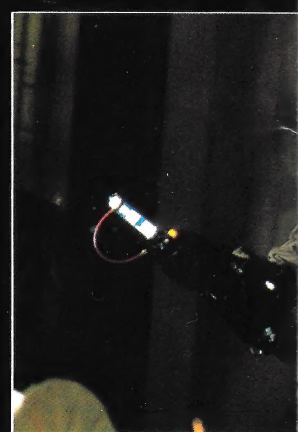


〝コメディ界のクラーク・ケント〟と呼ばれる彼も,エイクロイドと並んで脚本や監督もこなす現代の才人だ。マーレーとの名コンビぶりも知られている。シカゴ出身。セントルイスのワシントン大学を卒業後,シカゴで教師をしながら〝シカゴ・デイリー・ニューズ〟に寄稿していたが,やがて〝プレイボーイ〟の編集者の1人となる。〝セカンド・シティ〟のオーディションを受けて合格し,69年頃さらにレギュラーのメンバーとなり,ニューヨークに行ってからは,オフ・ブロードウェイの『ナショナル・ランプーン・ショー』の脚本家兼コメディアンとなる。TVのノンフィクション番組,『ビジョンズ』の脚本が認められ,「アニマルハウス」の執筆を手がけたところ大ヒット作品となった。ライトマンやマーレーと組んで「ミートボール」(脚本),「ボールズ・ボールズ」(脚本・監督),「パラダイス・アーミー」(脚本・主演)といったヒット作を放っている。83年の監督作品「ホリデーロード4000キロ」も全米では大ヒットとなった。







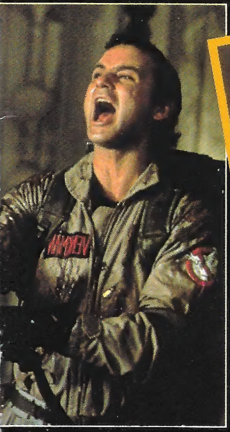






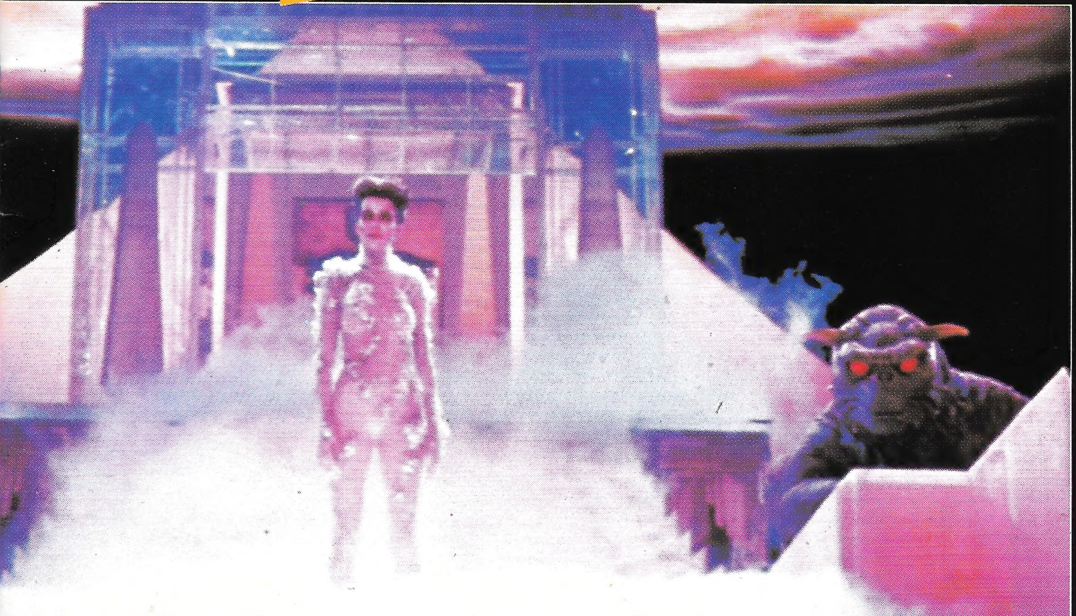












「エイリアン」では最後まで生き残る男まさりのパイロット役に扮していたが，ここでは〝門の神ズール〟に乗り移られる美女を熱演して，悩ましいムードがいっぱいだ。49年10月８日ニューヨーク生まれ。父親はＮＢＣの前社長のシルベスター・パット・ウィーバー。母親がイギリス女優のエリザベス・イングリスという環境に育ち，スタンフォード大学で，英文学を学ぶ。その後，エール大学の演劇科に入り，オフ・ブロードウェイの『マルコ・ポーロ・シングス・ア・ソロ』などの舞台に立つよう

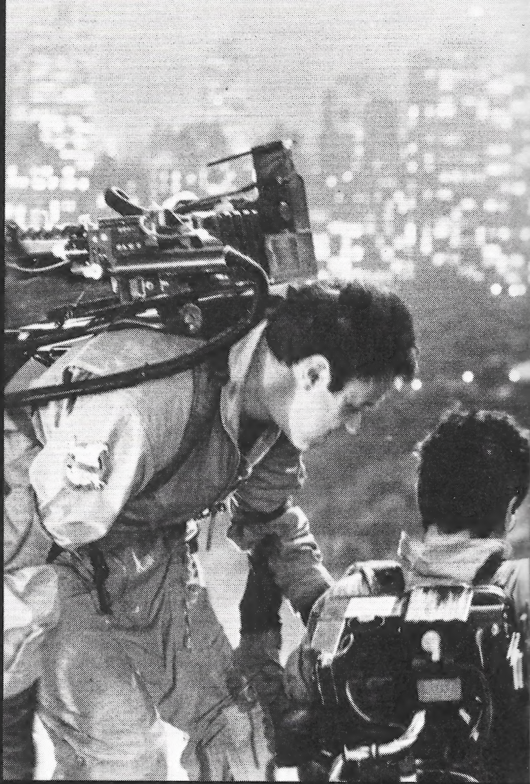


SIGOURNEY WEAVER

シガニー・ウィーバー

になり少しづつ認められていく。
映画デビューは「エイリアン」⑱で，この作品の大成功により，一躍実力派女優として知られるようになる。本名はスーザンだが，フィッツジェラルドの小説「華麗なるギャッツビー」の中から，シガニーの名前をとり芸名にした。〔その他の主な作品〕㉛目撃者　㉝危険な年，世紀の取り引き（未公開）





ニューヨーク，それはどんな事件が起きても表情を変えない街だー。ここに超自然現象の研究をしている大学の科学者が３人。オトボケ者のピーター（Ｂ・マーレー），ひょうきんなレイモンド（Ｄ・エイクロイド），冷静沈着なイーガン（Ｈ・ライミス）だ。

ある日，彼らの許にニューヨーク市立図書館でゴーストが現われた！という情報が入ってくる。早速図書館に駆けつけると，図書カードが散乱し，粘着性の液体が壁にベッタリ…。やがてお目あてのゴーストを発見。それは緑色のもやに包まれた老女のゴーストだった。ビックリ仰天の彼らは，先を争って逃げ出した。

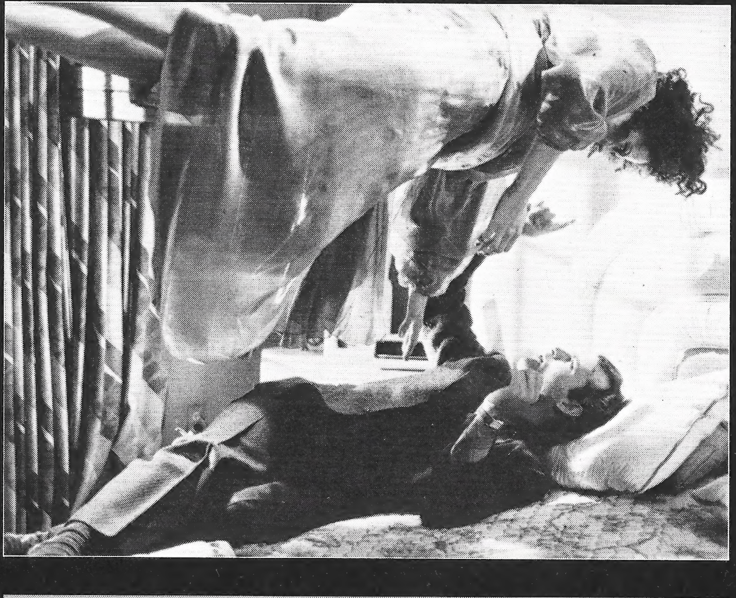
大学に戻ったら戻ったで，とんでもない運命が待っていた。研究費が突然打ち切られ，クビを宣告されたのだ。「エーイ，こうなったら決めたゾ！大学での経験をいかして新しい商売を始めてみようじゃないか。何の商売かって？それは〝ゴーストバスターズ〟（オバケ撃退部隊）さ。ニューヨーク広しといえども，こんな商売他にはないっ！」

決意を固めたオチコボレの科学者３人はオンボロアパートを借りて，営業開始。そして，テレビＣＭで大宣伝！その甲斐あって第一号のお客。彼女の名前はディナ（Ｓ・ウィーバー）。セクシーな人気チェロ奏者だった。自宅の冷蔵庫から聞こえる〝ズール〟という謎の声に，日夜悩まされ続けているのだという……。

数日後，高級ホテルにもゴーストが出現。大乱闘の末，このイタズラなアグリー・リトル・スパッドの捕獲に成功した３人組は，全米のマスコミに派手に取り上げられる。こうして商売は大繁盛となった。

やがてピーターは出会った時から，恋心を募らせていたディナとデートの約束をとりつける。ところがその夜，冷蔵庫で眠っていた〝ズール〟が姿を現わし，自分の部屋に戻った彼女めがけ，突然襲いか





THE STORY









かった。

そうとは知らず浮かれてドアのベルを鳴らすピーター。ナナナント！現われたディナは悪の権化〝門の神ズール〟に姿を変えているではないか！彼女は〝鍵の神ビンツ〟を待っているという。

ピーターは霊界の恐しいカラクリに気付き始めた――。〝門の神ズール〟と〝鍵の神ビンツ〟が人間の生身の体を借りて交った時，世界は悪魔の支配下におかれるのだと。

その頃，オフィスには〝鍵の神ビンツ〟になり果てたルイス（R・モラニス）の姿があった。ルイスはディナのアパートの隣人，かねてから彼女を片想いし続けていたマジメな税理士だった。イーガンやレイモンド達は彼を保護し，調査を進めようとしていた。だが，運悪く環境庁のイジワル役人ウォルター（W・アザートン）が現われ，無数のゴーストを保存していたタンクの電源を切るのだった。凄まじい爆発音と共にオフィスは一瞬にして崩壊し，無限のパワーを秘めたゴーストたちはニューヨークの摩天楼に解き放たれる。

一方〝鍵の神ビンツ〟は破損したアパートの屋上で，〝門の神ズール〟と出会い，時を共有してしまう。こうして，遂に世紀末の世界へと向かう扉が開かれてしまうのだった。



ピーターはウォルターの命令で留置所に閉じ込められていたが，ニューヨーク市長にかけあった末，再度〝ゴーストバスターズ〟の出撃許可が下りた。

かくして，ニューヨーク市の全権委任を受けて，黒人のウィンストン（E・ハドソン）を加えた４人の〝ゴーストバスターズ〟の大進撃が開始された。

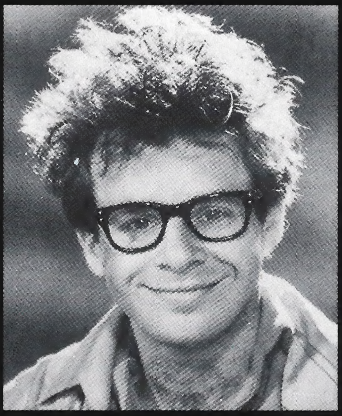


アパートの屋上は〝ゴーザの寺院〟と化していた。それは眼もくらむばかりのオドロオドロしい幽界――。

ディナとルイスはさらに〝テラー・ドッグ〟に姿を変えて立ちはだかった。そして霊界の女王〝破壊の神ゴーザ〟が遂に，神秘と恐怖の世界から降来した。ゴーザは巨大なマシュマロ・マンに姿を変えると，いよいよ破壊を開始した。

さあ，地球の危機を救え！〝ゴーストバスターズ〟！





RICK MORANIS

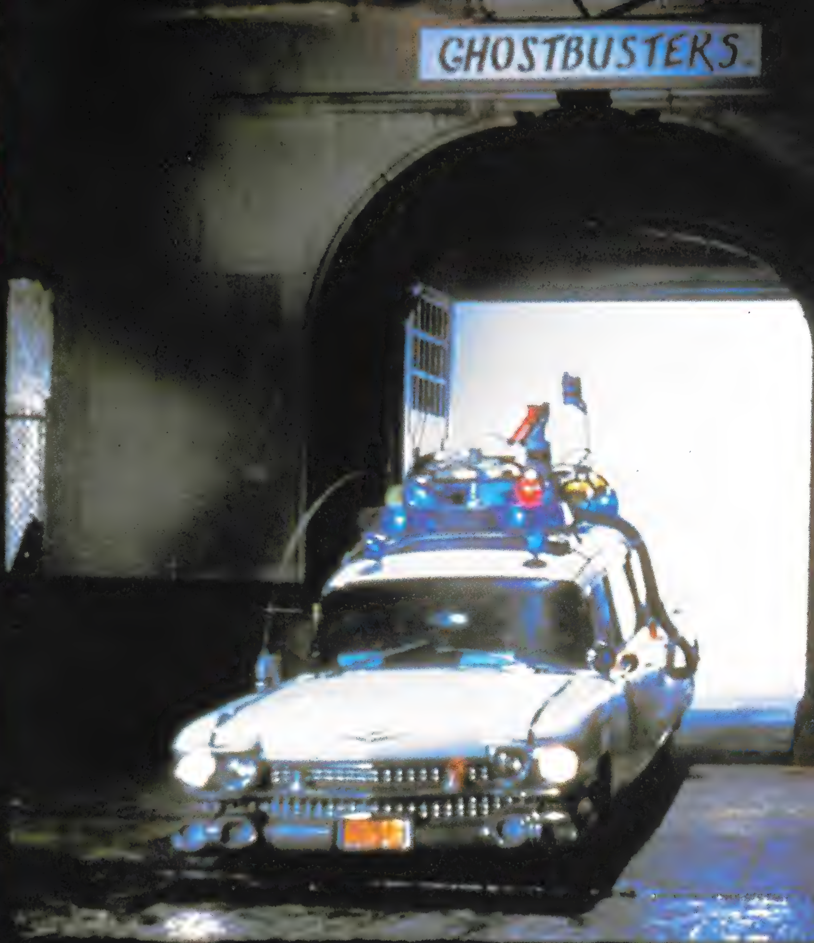
リック・モラニス

美しきティナに恋する哀れな隣人役をユーモラスに演じて，傍役ながら強烈な印象を残すモラニス。新しいコミック・タレントの誕生といえそうだ。トロント生まれの彼はハイスクール時代からラジオ局で働いていた。カナダのＣＢＣの仕事で認められ〝セカンド・シティ・テレビ〟に参加。このプロダクションが製作したショーが81年頃からＮＢＣで放映され，モラニスは82年と83年の２度にわたってエミー賞を受賞した。ウォルター・ヒル監督の「ストリート・オブ・ファイヤー」にも出演して，84年はモラニスにとっての当たり年となっている。















ANNIE POTTS
アニー・ポッツ

奇妙な声でアンニュイで，おかしな秘書役を演じたアーニー・ポッツ。ミズーリ州のステファン大学で演劇を勉強した後，シェイクスピアの舞台に立ちながら，ＴＶに端役出演。足のケガのためしばらくブランクがあったが，76年頃から『チャーリーズ・アント』といった舞台，『カウボーイ』や『グッドタイム・ガールズ』といったＴＶドラマに出演して認められていった。新作はバート・レイノルズ共演の『スティック』。〔その他の主な作品〕⑰コルベット・サマー，⑱キング・オブ・ジプシー



WILLIAM ATHERTON
ウィリアム・アザートン

環境庁のがんこな役人ペックを演じたアザートン。日本のスクリーンに登場するのは久しぶりだが，最近はステージの方で活躍していた。47年７月30日コネチカット州生まれ。ハイスクール時代から芝居に興味を持ち，その後パサディナ演劇学校とピッツバーグのカーネギー専門学校へ進む。ニューヨークへ出てからは舞台やＴＶで活躍するようになる。映画の出世作はスピルバーグ監督の73年の作品「続・激突！カージャック」。74年の「華麗なるギャッツビー」ではテーマ曲を歌いオスカーを受賞。〔その他の主な作品〕⑫センチュリアン⑬続おもいでの夏⑮イナゴの日，ヒンデンブルグ⑯ミスター・グッドバーを探して



ERNIE HUDSON
アーニー・ハドソン

気のいい４人目の〝ゴーストバスターズ〟に扮し，力演したハドソン。彼も脚本やプロデューサーもこなすマルチプレイヤーだ。ミシガン生まれの彼はウエイン州立大学，エール大学，ミネソタ大学などで約10年に渡って，演技や演劇製作の勉強をした。『グレート・ホワイト・ホープ』の舞台で認められ，74年にゴードン・パークス監督の『リードベリー』（未公開）で映画界入り。『ルーツII』『ホワイト・ママ』などＴＶドラマでも活躍している。〔その他の主な作品〕⑲メーンイベント⑳ジャズシンガー㉒スペースハンター（未公開）㉓セカンド・チャンス

お待ちかね，特撮コメディ「ゴーストバスターズ」が，ついに公開だ。数多いお正月映画のなかのナンバー1，入場料1500円もムダじゃない！　のおすすめ作品だ。

人間は欲ばりにできている。ジョージ・ルーカスの「スター・ウォーズ」，スティーブン・スピルバーグの「未知との遭遇」や「Ｅ．Ｔ．」のような，特撮とクリエイチャーの傑作を見てしまうと，もう，ちょっとのことでは満足しなくなる。つい「もっとすごいこと，あるんんじゃないか」と上ばかり見る。



その欲ばりの目で見ても，「ゴーストバスターズ」はすごい。おかしい。かわいい。抱腹絶倒のユニークさ。ほとんどクセになりそうな，おもしろ不思議ワールドである。

これまで特撮映画といえば，子供がターゲット，非現実コミック風ストーリーがウリだった。それが！この作品の場合はまったく違うのだ。特撮映画と，アメリカ人が大好きなコメディ（ちなみにアメリカで製作される映画の半分近くがコメディなのだ）がドッキング。子供はもちろん，大人にもしっかり楽しめるエンタテイメントとして，大成功した最初の作品である。

だから主演の３人──ダン・エイクロイド，ビル・マーレー，ハロルド・ライミス──も'80年代のアメリカ・コメディ界をしょって立つ，ＢＩＧスターたちだ。どのくらいＢＩＧかといえば，タモリとたけしと所ジョージがトリオを組んで主演したくらいのスターたちなのだ。

アメリカではコメディが多いといったが，アメリカで大ヒットしたコメディが，日本で大ヒットすることはほとんどない。言葉のカベ，習慣の違い，国民性の差…いろいろな理由で，日本ではおもしろさがうまく伝わらない。公開されるのはごくごく，ごく一部で，アメリカのコメディアンが日本のスターになった例は，バスター・キートンとチャップリンくらいしかない。日本のファンにとっては，この主演トリオだって，まるで無名に近い。

かろうじてダン・エイクロイドが知られているくらいだと思う。彼は'80年にジョン・ベルーシュと黒メガネをかけて共演した「ブルース・ブラザース」で過激にめだっていたし，キャンペーンで来日もした。よぶんな話だが，'82年にベルーシュが死んだ後〝ボクは彼の霊に会った!?〟と，アメリカのゴシップ紙で話題になった。ベルーシュとエイクロイドは，「ブルース…」で共演したほかに，レコードも一緒に吹き込んだ，親友だった。

ワタクシが，はじめて「ゴーストバスターズ」を見たのは，７月のはじめにロスアンゼルスに行ったときだった。公開されて２・３週間たった頃で，ＵＣＬＡのあるキャンパス・タウン，ウエストウッドの映画館だった。

〝大ヒット中〟のウワサも聞いていたし，「今どきオバケ？　おもしろそう」の予感もあったが，映画館に入ってビックリした。

元気ピンピンの子供，ベッタリくっつきっ放しの高校生カップル，主婦風オバちゃん，ＯＬ，サラリーマン，優雅な引退生活中の老夫婦……みんなポップコーンのラージサイズを手に大笑いしている。そのおもしろがりかたは，ちと異常。はしゃぎきっちゃっていた。

な～んて思っていたら，映画を見終わったとき，ワタクシメもしっかりはしゃいでしまっていたのだ。ナ・ナント！

だって，メチャンコおもしろかったのです。英語は50パーセントくらいしかわからなかったけど（もしかして，ほとんどわからなくても，やっぱり）おもしろかった。３人組を見ているだけで笑ってしまう。アクションだけでストーリーがわかる。

特撮とコメディがみごとにドッキング。子供にも、大人にも、しっかり楽しい大傑作！

おかむら 良







理屈ぬき，年令も無関係，ゼンダー・ギャップなんかくそくらえ。観る人をノセてしまうパワーがスクリーンからビンビン伝わってくる。スラングがチンプンカンプンのワタクシでさえこうなのだから，スミからスミまで理解のアメリカ人が大喜びするのも，あたりまえなのだ。

みんなの共感は，主人公のキャラクターづくりなど，ちょっとした工夫のうまさにある。3人は落ちこぼれの科学者で，大学をクビになって〝なんとかせねば〟と考える。結果，専攻していた超自然現象の研究，はやくいえばオバケの研究のキャリアを生かして，ゴーストバスターズにとらばーゆする。で，みごと成功，業界のパイオニアになるのだ。

こんな，とらばーゆシチュエーションは，誰だって身につまされてしまう。その一方で，庶民の夢サクセス・ストーリーにもなっているから，過程も手ぎわよく描かれる。

無名のゴーストバスターズは，まずテレビＣＭをうつ。そして，市立図書館住い(？)のオバケにでくわし，高級ホテルのオバケをつかまえて一躍，名前が知られるようになる。そこにかけつけてくるのが，テレビのレポーター，新聞記者，雑誌の取材記者たち。取材陣に追われるようになった彼らに，仕事はドンドン舞い込み，取材陣はなおさらふくれあがる…。アメリカで有名人になるには，マスコミにとりあげられることが，いかにメリットがあるか，マザマザとわかる仕くみだ。

こんなところに目をつけたのか？　大統領選挙を戦っていたモンデール陣営は，一時期ゴーストバスターズを借りて〝レーガンバスターズ〟を合言葉にした。ついでにＴシャツまでつくった。モンデールはさっぱり負けてしまったが「ゴーストバスターズ」のヒット一直線ぶりには，なんの影響もなかった。モンデール陣営が映画の勢いにノリきれなかったというだけのことだった。

さて，この作品のもうひとつのセールス・ポイントは，個性的でユニークなオバケたちである。品のいい老女で〝本の虫〟のライブラリー・ゴースト。ガイコツ・フェイスでお客をびっくりさせては喜ぶタクシー・ゴースト。みどり色の発色体で，なんでもかんでも食べまくるアグリー・リトル・スパッド。スケスケのボディスーツで悩殺するフィジカル（肉体)・オバケのゴーザ。とどめは，クライマックスの対戦相手，雪だるまが極限膨張したようなマシュマロ・マン，というのは笑ってしまう。対決がすめば大爆発したマシュマロのおかげで，ゴーストバスターズもニューヨークの町も見物人もベタベタ。生クリームのなかで，プロレスでもしたようになってしまうのだ。

特撮界のＢＩＧ１，リチャード・エドランドがウデによりをかけた愛すべきオバケくんたち。彼らは日本オバケのようにオドロオドロしくもないし，ジトーッとしたりもしない。食欲，支配欲，色欲，読書欲といった欲望をグローイング・アップして，ひたすら本能のままに生きている自由人という感じがいい。欲望パンパンで生きている人間としても，親しみやすいのだ。

世界の先端都市・ニューヨークと，前近代的なオバケ退治を，フツー人の感覚でミックスした「ゴーストバスターズ」は，こんな風に観客をさいげんなくエキサイトさせる要素がギュウギュウにつまっている。

シナリオを書いたのは，主演もしているダン・エイクロイドとハロルド・ライミス。監督はコメディの３番バッター，アイバン・ライトマン。オバケづくりは天オリチャード・エドランド。とっときのオマケは，何を考えているのか全くわからないビル・マーレーの不気味なおもしろさ，である。このとり合わせを聞いただけで，「見に行かなくっちゃ」「行かなくっちゃ」とソワソワするアメリカ人はたくさんいるだろうう。

特撮コメディの大傑作「ゴーストバスターズ」には，日本人みーんながソワソワして，「見に行かなくっちゃ」「行かなくっちゃ」とつぶやいてほしい。そしてこの作品に，大拍手を送ってほしいのである。





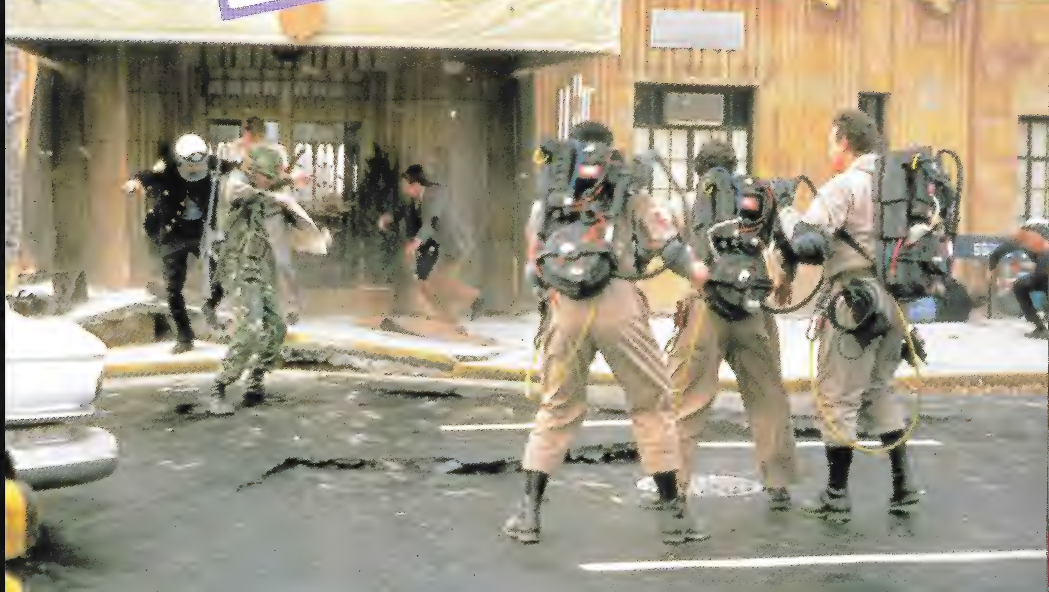


GHOSTBUSTERS









リチャード・エドランドとSFX

田沼 雄一

●「ゴーストバスターズ」におけるＳＦＸの白眉，ニューヨークに突如出現するひょうきん大魔神〝マシュマロ・マン〟。全長45メートル（実際は２メートルそこそこなのだが）。完全スーツ・メーション（ぬいぐるみ）製である。下地は，最も防火性に富んだフォーム〈グレイ・パイロタン〉で出来ており，その外側に2.5センチの細孔が100個もあるスコット・フォームが使用されている。

スーツ・メーションとは言っても，顔の細かな表情はケーブル操作でしか得ることができない仕掛けになっているのだ。

ニューヨークに出現してくる場面――ノッシ，ノッシと歩く〝マシュマロ・マン〟は一秒72コマのハイ・スピード撮影（映写すると逆にスローモーションになる）でフィルムに収められ，画面に見えないところで４人のＳＦＸマンが〝マシュマロ・マン〟を乗せた台車を懸命に引っぱっていたのだ！

映画製作とは，なんとたいへんなことか。

●さて，「ゴーストバスターズ」の特殊効果を担当したＳＦＸマンは，すでに「スター・ウォーズ」(77)「ポルターガイスト」(82）などでお馴じみのリチャード・エドランド。いまや，ＳＦＸ界の〝ビッグ・ワン〟である。

エドランドは，ジョージ・ルーカスのＳＦＸ工房〝ＩＬＭ〟(インダストリアル・ライト＆マジック)〟の元中心人物。ＩＬＭ時代に手がけた「スター・ウォーズ」「同／帝国の逆襲」(80)「レイダース／失われたアーク」(81)「スター・ウォーズ／ジェダイの復讐」(83）のＳＦＸで四たびアカデミー特殊効果賞を受賞している。特撮シーンの天才的魔術師，である。

とくに，「ジェダイの復讐」における，スピーダー・バイクが地上すれすれのところを目もくらむような猛スピードでぶっ飛ばし，大森林の中をかいくぐっていくＳＦＸ場面は，もはや博物館に永久保存したくなるほどの科学的芸術性にあふれている。

リチャード・エドランドは，ノースダコタ州ファーゴ生まれ。海軍写真学校を卒業後，南カリフォルニア大学映画学科に学ぶ。ジョージ・ルーカスの先輩である。

南カ大を卒業したのち，ハリウッドの『ウェストハイマー・カントリー』という製作プロダクションで『宇宙大作戦』（すなわち〝スター・トレック〟である）や『ミステリー・ゾーン』(すなわち〝トワイライトゾーン〟である）などの人気テレビ番組の特撮場面を担当。この頃，ＳＦＸのセンスを身につける。

その後，フリーとなり，レコード・アルバムのグラフィック・デザインからロック・コンサートのプロモーション，実験映画の製作，ＡＢＣ放送でアニメーションを製作，果たまたテレビ用コマーシャル・フィルムを製作するなど，多方面で活躍。ほとんど，何んでも屋気質まる出しである（この好奇心旺盛なところが，エドランドをして今日のようなＳＦＸ界の〝ビッグ・ワン〟たらしめたことは言うまでもない）。

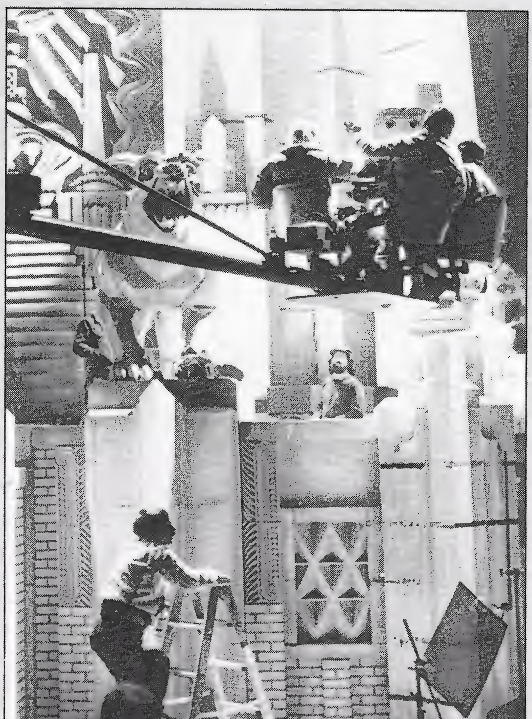
68年には，『1960年代のアメリカ彫刻』というドキュメンタリー映画を製作。ロサンゼルス美術館で公開された。この映画で，エドラントは早くも，のちのモーション・コントロール・カメラ（コンピューター制御によって同じ動きが何回でも得られるカメラ・ワークショップ）の基本と言うべきエレクトロニクスを応用したカメラ・ワークを見せ，ファンを驚かせた。

そして76年，南カ大の同窓のよしみでジョージ・ルーカスと出会い，設立まもないＩＬＭへと参加していったのである。ＩＬＭでは，前述した作品のＳＦＸを手がける一方，特殊プリンターや特殊ビスタヴィジョン装置，モーション・コントロール・カメラシステムといった，特殊効果部門に決定的な影響を与える新技術を研究・開発した。ルーカス映画の魅力は，多分にエドランドの力に負うところ大である。

83年，「スター・ウォーズ／ジェダイの復讐」を最後にＩＬＭを去り，「2001年宇宙の旅」(68)「未知との遭遇」(77）で知られるＳＦＸの第一人者ダグラス・トランブルの〝ＥＥＧ〟(エンターテイメント・イフェクト・グループ）に参加。そこで自ら〝ボズ・フィルム〟というＳＦＸ専門の製作プロダクションを設立した。エドランドはこう言う――「『ジェダイ』が終った時点で，自分の今後の身の振り方を考えたんだ。そんなとき，トランブルから〝ＥＥＧを引き受けてくれないか〟という話があったんだ。結局，私が共同経営者になって〝ＥＥＧ〟向きの仕事を取り，私自身がそれを管理するということで話がまとまったんだ」

〝ボズ・フィルム〟の記念すべき第一作品こそ，この「ゴーストバスターズ」なのである（ちなみに，第２回作品は注目の『2010年宇宙の旅』である）。

「ゴーストバスターズ」における，リチャード・エドランドと〝ボズ・フィル







ム〃の面々の，主なＳＦＸぶりを覗いてみよう。

●ＳＦＸ場面の撮影は，ロサンゼルス郊外のバーバンク・スタジオで行われた。

ＳＦＸ場面は，カット数にして約200。それらのカットに，ストップ・ゴーモーション，ロートスコープ，アニメーション，マットペインティング……など，最新技術が駆使されている。

撮影に使用されたカメラは，65ミリ高速撮影機。従来のビスタヴィジョン・フィルムより，約1.8倍に拡大された特別製のフィルムを取り付けることのできる高密度カメラだ。これによって，フィルムのむらがなくなり，より鮮明な映像が得られることになった。

この65ミリ高速撮影機を開発したのは，もちろんリチャード・エドランド自身。彼はこの装置をＩＬＭ時代に思いつき，試作品まで作ったという。ちなみに，その試作品――ニコン型65ミリ・カメラは，「インディ・ジョーンズ／魔宮の伝説」(83)のトロッコ場面に使われ，威力を発揮した。

●バーバンク・スタジオ内には，もちろんクライマックスの舞台となる〝ゴーザの寺院〃もぶっ建てられた。全長20メートル。製作になんと1000万ドルがつぎ込まれた（ゆうに１本の映画ができてしまうほどの巨費だ)。設計を担当したプロダクション・デザイナーのジョン・デ・キュアはこう言う。

「ニューヨークのセントラル・パーク・ウエストにある建物のその頂上を，そっくりそのまま真似て建てたんだ」

早い話，ニューヨークがバーバンク・スタジオ内に引っ越してきたというわけだ。と言っても，バーバンクの〝ゴーザの寺院〃からはニューヨークは見渡せない。劇中，寺院のバックに広がるニューヨークは実景ロケで撮ってきたフィルムの上に，精巧に書かれたマットペインティングを合成。マット画を書いたのは，「地球の静止する日」(51)「ベン・ハー」(59)「北北西に進路を取れ」(59)などで早くからマットペインティングによるＳＦＸを手がけてきた超ベテラン，マシュー・ユーリシッチである。あるスタッフはこう話す――「マシューのマット画は驚異的だ。ニューヨーク全景のものはもちろんのこと，とくに上半分がマット画で，下半分が本物のニューヨークの街という場面だね。ちょっと観ただけでは，どこまでがマット画でどこまでが実写なのか，見当もつかない。マシューは素晴しいＳＦＸマンだ」

●ゴーストたちのＳＦＸもご紹介しておこう。まずは，図書館に出没するおばちゃまゴーストから――。おばちゃまゴーストのアーマチュア（特殊メーキャップをほどこしたＳＦＸ人形のこと）は２体，作られた。１体は，静かに本を読んでいる場面に使われた。もう１体は，読書中のところを三銃士に邪魔され，突如，悪鬼のような凄まじい形相で彼ら３人を驚かす場面に使われた。じつは，この悪鬼のようなアーマチュアは，当初〝テラー・ドッグ〃に優るとも劣らないモンスターになるはずだった。実際，メーキャッパーのマーク・ウィルソンは〝ライブラリー・モンスター〃とも言うべき，そのアーマチュアを造型したほど。ところが，アイバン・ライトマン監督の「最初から観客をそんなにオドかすこともないだろう」のひと言で，このモンスター君の出番はカットされてしまったのだ。なお，おばちゃまゴーストのアーマチュアの胸には，きれいなおべべで見えないけれども，ちゃんと二つたれパイがぶらさがっているのだ！　芸がこまかいネ。

●高級ホテルに出没する〝アグリー・リトル・スパッド〃。特製のフォームラバーで作られたスーツ・メーションである。中に入って演技しているのは，ＳＦＸマンのマーク・ウィルソン。この〝リトル・スパッド〃は３体，作られた。１体はゲラゲラ笑っているやつ。もう１体は飲んだり食ったりするやつ，そして３体目はダン・エイクロイドに追っかけられ，少々おびえているやつ。

●この〝リトル・スパッド〃を，三銃士がホテル内で退治する場面は，ロサンゼルスのダウンタウンにあるビルトモア・ホテルで撮影された。ちょうど，ニュートロナ銃をぶっ放す場面でもあったため，その仕掛けがたいへんだった。

ホテルの宴会場の壁に火薬が埋め込まれ，床にも爆破装置が仕掛けられた。撮影本番では，これらの仕掛けに電流が送られ，一瞬にしてホテル内は花火大会……映画のような痛快な爆破シーンとなったのである。ホテル内は，まるで本物の戦闘があったかのように，見るも無残に破壊されてしまった。なんでも，復元には３ヵ月を用したとか。ちなみに，ニュートロナ銃から発射される七色の光線は，〝ボズ・フィルム〃のスタジオで撮影されたアニメーションである。

●アニメーションと言えば，シガニー・ウィーバーとリック・モラニスの２人が〝ゴーザの寺院〃で霊的な力を持つ稲妻に撃たれ，〝テラー・ドッグ〃(このアーマチュアは油圧ケーブルで動かされている)に変身する場面も忘れてはならない。あの場面に光る稲妻は，精密に書かれた１本線のアニメである。おまけに，〝ゴーザの寺院〃の上空，うす暗く荒れ狂う雲もまた，水の中に絵の具をたらして作った人工雲……すなわち，アニメーションなのだ。

いやはや，ワン・カット，ワン・カット，じつに芸がこまかいですな。ＳＦＸ場面にたずさわったスタッフだけでも，ゆうに100人は越しました。リチャード・エドランド，そして〝ボズ・フィルム〃のＳＦＸマンの皆さん，本当にお疲れさまでした。









ゴースト紹介



出た!!
何たってこの
映画にはゴーストが
やたら出てくる。ニューヨークはもうゴースト・ラッシュ!!
順を追って紹介していこう。

まずニューヨーク市立図書館に出た**ライブラリー・ゴースト**。本を飛ばしたりカードをはねたりした恐～イ出方の割には，実はおとなしく本を読んでいるだけの老女のゴースト。だが，邪魔をするととてつもない化物に変身する。次は**門の神ズール**。美女ディナのアパートの冷蔵庫の中に出現，ディナにとり憑いた門の神。「エクソシスト」の悪魔は少女にのりうつってショッキングな行為をさせたけど，さてズールはディナにナニをさせるのかな？高級ホテルに出てゴーストバスターズの獲物第１号になったのが，**アグリー・リトル・スパッド（醜い小さなジャガイモ）**。食い意地のはった緑色発光性のお化けで，食物はもちろん皿でもフォークでもバケツでも食べてしまう。ただし人には危害は加えない。恐ろしいのが**テラー・ドック**。ディナのアパートの屋上に出現した〝ゴーザの寺院〟の狂った番犬。ルイスを追いかけ，パーティーに乱入する狂暴そのものの怪物。牡と牝の二頭いる。そのルイスにとり憑くのが**鍵の神ビンツ**。鍵の神と門の神が合体！ムニャムニャすると，世にもオゾマシイ世界が出現するのだ。ゴーストバスターズの建物が爆発した時とびだしたのが**サブウェイ・ゴースト**。地下鉄の入口に出るが超スピードで空を飛ぶため，目撃者は少ない。もう一つタクシーの運転席に出たのが**タクシー・ゴースト**。ミイラの様な腐乱した姿で，乗ろうとした客をオドロかす。こんなゴースト達の大ボスが，**霊界の女王＝破壊の神ゴーサ**。世界に黙示録的終末をもたらさんとする強大凶悪な神で，〝ゴーザの寺院〟に棲んでいる。このゴーザが，破壊をするため変身したのが**マシュマロ・マン**。身長45メートルの超巨大マシュマロ製の怪物!?もっとも，どうせ出てくれるなら，レイモンドのベッドに現われた**ドリーム・ゴースト**の方がいい？空中を浮遊するセクシーなギャルのゴーストに，ジッパーをおろされたレイは……ウックと悶絶快感体験？これなら大歓迎!?

★マシュマロ・マン



★ライブラリー・ゴースト



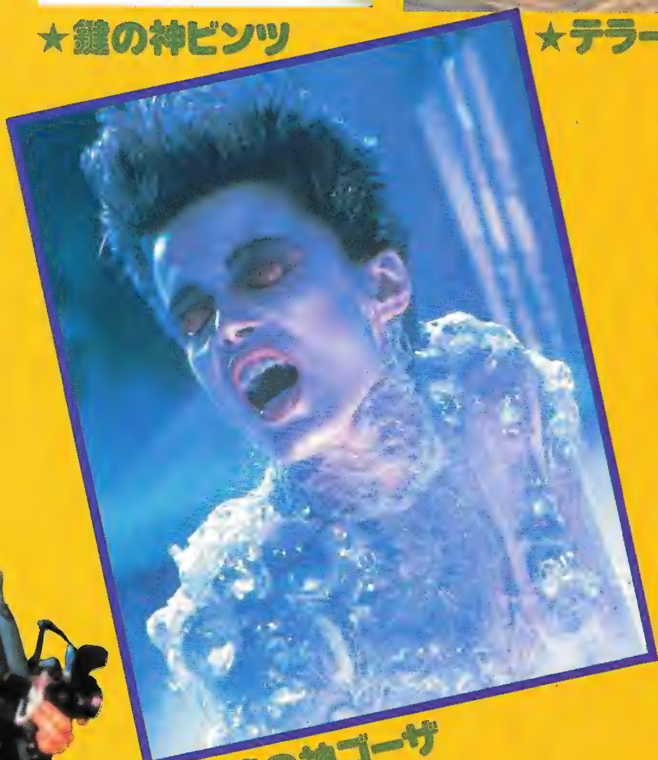
★アグリー・リトル・スパッド



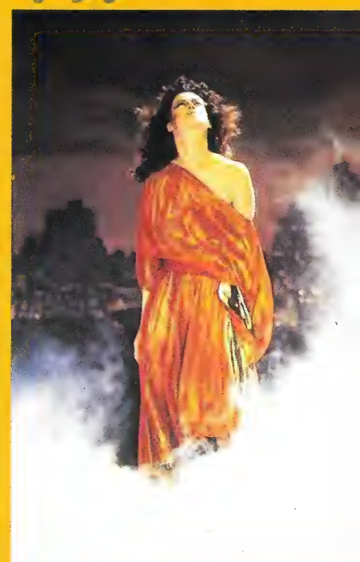
★鍵の神ビンツ



★テラー・ドッグ



★破壊の神ゴーザ



★門の神
ズール



製作・監督

アイバン・ライトマン

IVAN REITMAN



マーレーやライミスと組んで次々にヒット作を放っているためか，彼らは〝ライトマン一家〟と呼ばれ，夏のアメリカ興行界では毎年バツグンの実績を残している。

チェコスロバキアで生まれた彼は，4才の時にカナダに移った。学生時代にカナダの二百年祭の作曲コンテストに入賞して芸術的な才能を認められた。大学に入ってからは短編映画を撮るようになり，〝ニュー・シネマ・オブ・カナダ〟という非商業的なプロダクションで映画作りに励むようになる。

やがてトロントで『グリード』というＴＶのバラエティ・ショーの監督となったが，この時，ナレーションを担当したのが，ダン・エイクロイドだった。トロントでは『スペルバウンド』という舞台も手がけたが，これがまた成功をおさめ，『マジック・ショー』というブロードウエイのヒット作へと発展。この作品は５年間ものロングランを続けた。オフ・ブロードウェイで手がけた『ナショナル・ランプーン・ショー』も好評で，これがきっかけで78年の大ヒット映画「アニマルハウス」の製作を手がけた。

翌年ビル・マーレー主演，ハロルド・ライミス共同脚色の「ミートボール」を発表。続くこのトリオによるアクション・コメディ「パラダイス・アーミー」が全米では大人気になり，〝ライトマン一家〟の評価がさらに上がった。81年に製作した異色アニメ「ヘビー・メタル」も評論家に支持された。83年に監督したブロードウェイのミュージカル『マーリン』ではトニー賞候補となっている。

特殊効果

リチャード・エドランド A.S.C

RICHARD EDLUND, A.S.C.



この映画のもうひとりの主役＝話題のＳＦＸを担当したのは，「スター・ウォーズ」で知られるこの人。あらゆる可能性に挑戦し続けるＳＦＸピープルのビッグ・ワンである。

ノースダコタ州ファーゴ生まれ。ＵＳＣ（南加大）映画学科の出身で，ルーカスやスピルバーグとの仕事が多く，これまでに「スター・ウォーズ」⑰「帝国の逆襲」⑳，「レイダース／失われたアーク」㉑，「ジェダイの復讐」㉓で，４度にわたりアカデミー特殊効果賞を受賞。

ルーカスのＩＬＭで活躍したが，「ジェダイの復讐」を最後に彼のもとを去る。ダグラス・トランブルの下で設立したＥＥＧ（エンターテインメント・イフェクト・グループ）〝ボズ・フィルムズ〟の第一回製作作品が，この「ゴーストバスターズ」である。最新作は「2010年宇宙の旅」。84年７月来日。

〔その他の主な作品〕⑲チャイナ・シンドローム㉒ポルターガイスト，〈ＴＶ〉トワイライトゾーン，宇宙大作戦。

撮影

ラズロ コバックス A.S.C

LASZLO KOVACS, A.S.C.

友人のビルモス・ジグモンドと並び，アメリカ映画にはなくてはならない名カメラマンのひとりである。出身はハンガリーで，33年５月14日生まれ。〝映画演劇アカデミー〟で撮影技術を学んだが，ハンガリー革命の時に１年上のジグモンドと共にアメリカに渡る。最初はろくな仕事にありつけなかったが，69年の「イージー・ライダー」で見せた美しいカメラワークで認められてからは，「ペーパー・ムーン」「ニューヨーク・ニューヨーク」といった話題作のカメラを担当して高い評価を得ている。

〔その他の主な作品〕⑳ファイブ・イージー・ピーセス㉒おかしなおかしな大追跡㉕シャンプー⑲新・明日に向って撃て！㉝おもちゃがくれた愛。



スタッフ・メモ

美術
ジョン・デ・キュア

JOHN DE CUIR

目のくらむような豪華なプロダクション・デザインを担当したのは，ベテランのジョン・デ・キュア。ロサンゼルスのバーバンク・スタジオにおけるミニチュアのニューヨーク作りに特に力を入れたと語っている。これまでに11回のオスカー・ノミネーションを受け，56年の「王様と私」，63年の「クレオパトラ」，69年の「ハロー・ドーリー」の３作品では見事にブロンズ像を手にしている。
〔その他の主な作品〕(55)足ながおじさん(65)華麗なる激情(70)晴れた日に永遠が見える(74)ザッツ・エンターテインメント(80)レイズ・ザ・タイタニック。

音楽
エルマー・バーンスタイン

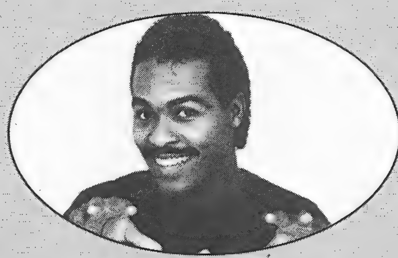
ELMER BERNSTEIN

「荒野の七人」で知られる巨匠エルマー・バースタインが音楽を担当。
22年４月４日ニューヨーク生まれ。ニューヨーク大学を卒業後，ジュリアードド音楽院でピアノと作曲を学ぶ。グレンミラーの空軍バンドの仕事を経て，ハリウッド入りし，55年「黄金の腕」のスコアで注目される。67年の「モダンミリー」でアカデミー作曲賞受賞。
〔その他の主な作品〕(63)大脱走(69)勇気ある追跡(73)マックＱ(77)スラップ・ショット(78)アニマルハウス(81)パラダイス・アーミー。



アーティスト・メモ

★レイ・パーカーJr.



1955年生まれ，78年に自己のグループ〝レイディオ〟として「ジャック＆ジル」を大ヒットさせ，81年には「ウーマン・ニーズ・ラブ」が大ヒット，82年の「ジ・アザー・ウーマン」より本格的にソロ・アーティストとしての活動に入る。この『ゴーストバスターズ』は彼自身の最大のヒットであると同時にアリスタ・レコード10年の歴史の中で最も売れたシングルである。

★エア・サプライ



1976年にオーストラリアで結成され，全世界で成功をおさめた最初のオーストラリアン・バンド。80年の「ロスト・イン・ラブ」から83年の「渚の誓い」までほとんどすべてのシングルを大ヒットさせ，日本公演も常に大盛況となっている。

★トンプソン・ツインズ



80年自主製作レコードでデビューしているが，本格的な活動はセカンド・アルバム「セット」(82年) から当時７人組のエレクトロ・ダンス・ポップのバンドとして脚光を浴び，この「イン・ザ・ネーム・オブ・ラブ」は全米ダンス／ディスコ・チャートでNo.１を記録。84年には「ホールド・ミー・ナウ」「ドクター！ドクター！」の大ヒットでスーパー・グループに成長。84年５月来日。

★ローラ・ブラニガン



82年にＬＰ「ブリリアント・レディ」でデビュー。ニューヨーク出身の27才。「グロリア」「愛を知って」などの大ヒットでスターダムに。３作目「セルフ・コントロール」からのタイトル曲も世界的な大ヒットとなっている。

★アレッシー



ニューヨーク出身，53年生まれの双児の兄弟。76年にＡ＆Ｍレコードよりデビュー。日本では２枚目にＬＰから「ただ愛のために」がヒット，82年，クエスト・レーベルに移籍，「そよ風にくちづけ」を発表，大ヒットした。

★ザ・バスボーイズ

ブライアンとケヴィンのオニール兄弟を中心とした６人組としてアリスタより80年デビュー。メンバー中５人が黒人であるにもかかわらず，ロックンロールバンドであった点で話題となる。昨83年ウォルター・ヒル監督の「48時間」に出演。テーマ曲『バック・イン・タウン』を歌っている。

★ミック・スマイリー

彼については経歴はまったく知られていない。「マジック」は本人のペンによる作品。

PRODUCTION NOTES

●シナリオ

この映画のシナリオを完成させるために，ダン・エイクロイドはユーレイやオバケに関する無数の文献，研究書物を読みあさった。ユーレイの存在を実際に信じている彼は心霊現象研究所の会員で，日頃から熱心に研究していたのだ。「オバケが登場する映画をいつか作りたいと思っていた。テクノロジーやサイエンスの要素を強調したヤツをね」とダンは語っている。

●ロケ撮影

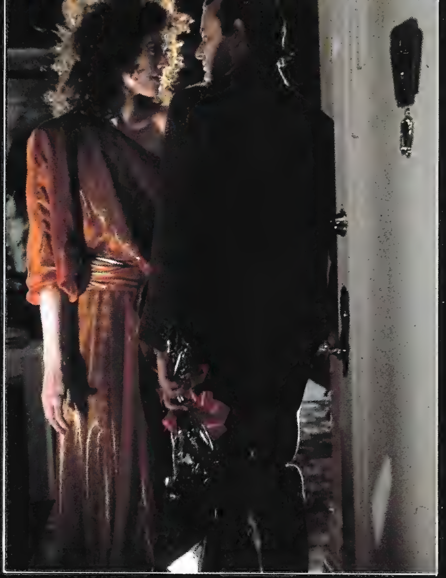
撮影は'83年10月からスタート。まずニューヨーク市内から始まったが，ロケ地として選ばれたのはニューヨーク市立図書館，シティホール，コロンビア大学，セントラル・パーク・ウエスト，旧ニューヨーク警察といった場所である。ディナとルイスのアパートはセントラル・パーク・ウエストにある建物を使用したが，撮影のため交通を一時ストップさせなければならなかった。そのため警察隊が出動し，緊張した雰囲気の中で撮影が敢行された。

●スタジオ撮影

ロケ以外の撮影はロサンゼルスのバーバンク・スタジオで行われた。スタジオの中には1000万ドルの巨費を投じて，約２ｍもの高さの巨大な〝ゴーザの寺院〟が建造された。「セントラル・パーク・ウエストの建物の頂上をそっくり真似て製作した」と美術担当のジョン・デ・キュア。この巨大セットからはニューヨーク市内の全景が見渡せる構成になっていたが，ハリウッドのスタジオでこの風景を組みたてる作業は大変だった。

●SFX(1)

凄い話題のＳＦＸは200以上ものカットで使用されているが，ストップ・モーション，ロートスコープ，アニメーションの最新技術によって生み出されたものだ。〝テラー・ドッグ〟は10数種類の大きさで製作。中に人間が入り，10人もの特撮技師が懸命に操縦しているものもある。映画の撮影そのものは500人ものエキストラを使った大仕事であったにもかかわらず，15週間で終了。だが，監督のライトマンいわく「本当のハードワークは撮影終了後に始まった。何しろ200以上ものＳＦＸと実写シーンを合成しなければならなかったからね」。



●SFX(2)

また，ＳＦＸピープルの〝ビッグ・ワ



ン″リチャード・エドランドが新しく開発したビスタビジョンよりさらに15％拡大されたフィルムによって，ピュア・ビジュアル・エンターテイメントが実現。〝ボス・フィルムズ″で開発された65㎜高速撮影機と合成システムによって高密度の視覚効果を成しとげた。数種のスケールがあるモデル・ミニチュア，65㎜のオプティカル・プリンター，65㎜高速ロータリー・ミラー・リフレックス・カメラが使用されている。

●演技

演技が最も大変だったと感じているのが，主演のビル・マーレー。「見えもしないゴーストやスモーク・マシーンの前で演技するのはスゴク疲れたよ」。反面，この映画は彼のベスト作品と自称。セリフも，アクションも，アドリブも全て完璧にできた！とのこと。また，ダンやハロルドとのアドリブは数えきれないほどあるが，「どれも満足できるもの」といっている。









スタッフ

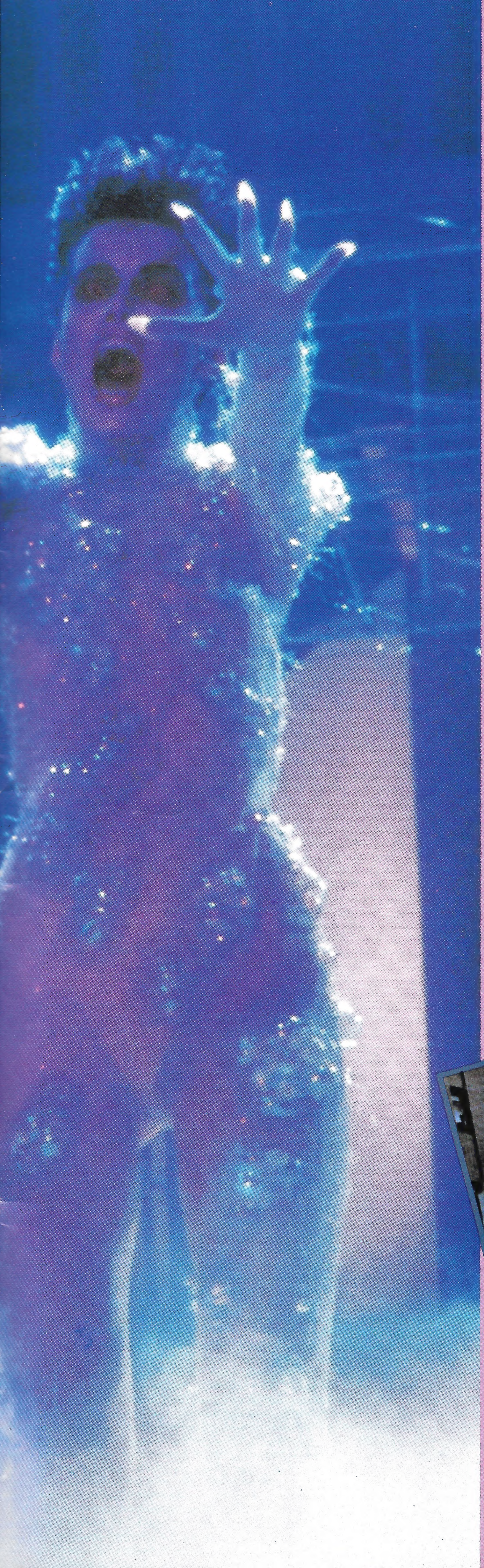
製作・監督……………………………………アイバン・ライトマン
製作総指揮…………………………………バーニー・ブリルスタイン
製作補…………ジョー・メドジャック＆マイケル・C・グロス
脚本…………………ダン・エイクロイド＆ハロルド・ライミス
撮影………………………………ラズロ・コバックス，A.S.C.
美術…………………………………………………ジョン・デ・キュア
編集………………………………シェルドン・カーン，A.C.E.
ディビット・ブリューウィット，A.C.E.
特殊効果…………………リチャード・エドランド，A.S.C.
衣裳……………………………………………セオニ・V・アルドリッジ
音楽……………………………………………エルマー・バーンスタイン
"ゴーストバスターズ"作詩・歌 ……………レイ・パーカーJr.

キャスト

ピーター・ベンクマン博士………………………ビル・マーレー
レイモンド・スタンツ博士………………………ダン・エイクロイド
イーガン・スペングラー博士…………………ハロルド・ライミス
ディナ・バラット……………………………シガニー・ウィーバー
ルイス・タリー………………………………………リック・モラニス
ジャニーン・メルニッツ…………………………………アニー・ポッツ
ウォルター・ペック………………………ウィリアム・アザートン
ウィンストン・ゼッドモア……………………アーニー・ハドソン
ニューヨーク市長…………………ディビッド・マーギュリース
ゴーザ…………………………………………スラビトザ・ジャバン







STAFF

Produced £ Directed by	IVAN REITMAN
Executive Producer	BERNIE BRILLSTEIN
Associate Producers	JOE MEDJUCK and MICHAEL C.GROSS
Written by	DAN AYKROYD and HAROLD RAMIS
Director of Photography	LASZLO KOVACS, A.S.C.
Production Design by	JOHN DE CUIR
Film Edited by	SHELDON KAHN, A.C.E.
	with DAVID BLEWITT, A.C.E.
Visual Effects by	RICHARD EDLUND, A.S.C.
Costumes by	THEONI V. ALDREDGE
Music by	ELMER BERNSTEIN
'Ghostbusters' Written and Performed by	RAY PARKER, JR.

CAST

Dr. Peter Venkman	BILL MURRAY
Dr. Raymond Stantz	DAN AYKROYD
Dr. Egon Spengler	HAROLD RAMIS
Dana Barrett	SIGOURNEY WEAVER
Louis Tully	RICK MORANIS
Janine Melnitz	ANNIE POTTS
Walter Peck	WILLIAM ATHERTON
Winston Zeddmore	ERNIE HUDSON
Mayor of N.Y.CITY	DAVID MARGULIES
Gozer	SLAVITZA JOVAN











豪華ミュージシャンが集合したスーパーサウンド・トラック!

①ゴーストバスターズ GHOSTBUSTERS……レイ・パーカーJr. Ray Parker Jr.
②きまぐれロック・タウン CLEANIN' UP THE TOWN……ザ・バスボーイズ The Busboys
③セイヴィン・ザ・デイ SAVIN' THE DAY……アレッシー Alessi
④イン・ザ・ネーム・オブ・ラブ IN THE NAME OF LOVE…トンプソン・ツインズ The Thompson Twins
⑤アイ・キャン・ウェイト・フォエヴァー I CAN WAIT FOREVER……エア・サプライ Air Supply
⑥ホット・ナイト HOT NIGHT……ローラ・ブラニガン Laura Branigan
⑦マジック MAGIC……ミック・スマイリー Mick Smiley
⑧ゴーストバスターズのテーマ MAIN TITLE THEME(GHOSTBUSTERS)……エルマー・バーンスタイン Elmer Bernstein
⑨ディナのテーマ DANA'S THEME……エルマー・バーンスタイン Elmer Bernstein
⑩ゴーストバスターズ (インストゥルメンタル・ヴァージョン)GHOSTBUSTERS(INSTRUMENTAL VERSION)…レイ・パーカーJr. Ray Parker Jr.



定価 400円

昭和59年12月 1 日印刷
昭和59年12月 2 日発行

発 行 所　東京都千代田区有楽町1―2―1　東宝 出版・商品販促室
発 行 者　東京都千代田区有楽町1―2―1　大　橋　雄　吉
発行権者　東京都港区新橋2―5―4　兼坂ビル　コロムビア映画会社
印 刷 所　東京都港区芝2―1―28　成旺印刷株式会社



BILL MURRAY DAN AYKROYD
SIGOURNEY WEAVER

GHOSTBUSTERS

THE SUPERNATURAL SPECTACULAR.

COLUMBIA PICTURES PRESENTS
AN IVAN REITMAN FILM
A BLACK RHINO/BERNIE BRILLSTEIN PRODUCTION
"GHOSTBUSTERS"
ALSO STARRING HAROLD RAMIS RICK MORANIS
MUSIC BY ELMER BERNSTEIN "GHOSTBUSTERS" PERFORMED BY RAY PARKER, JR. PRODUCTION DESIGN BY JOHN DE CUIR, DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY LASZLO KOVACS, A.S.C.
VISUAL EFFECTS BY RICHARD EDLUND, A.S.C. EXECUTIVE PRODUCER BERNIE BRILLSTEIN WRITTEN BY DAN AYKROYD AND HAROLD RAMIS
PRODUCED AND DIRECTED BY IVAN REITMAN

DOLBY STEREO IN SELECTED THEATRES

Columbia Pictures